

<作成例>

教員（採用）候補者履歴書

履 歴 書			
フリガナ 氏 名	クラシキ 倉敷	タロウ 太郎	男
生 年 月 日 (年 齢)	(西暦) ○○○○年 ○月 ○○日生 (満 ○○ 才)		写 真 上半身・脱帽・正面 4 cm × 3 cm (貼付してください)
国 籍	(日本国籍でない場合のみ記入)		
現 住 所	〒 ○○○ - ○○○○ 倉敷市連島町西之浦○○○○番地 TEL: (○○○) ○○○-○○○○ E-mail①: ○-○○○○@kusa.ac.jp (職場) E-mail②: ○-○○○○@gmail.com (必ず連絡がつくアドレス)		
学位・称号 (2件まで)	学士(○○) ○○○○年○○月 取得(○○○○ 大学)		
	博士(○○) ○○○○年○○月 取得(○○○○ 大学)		
学 歴 (高校入学以降)			
年 月(自)	年 月(至)	校名・学部名・学科名等	区 分
○○○○年4月	○○○○年3月	○○高等学校	卒業
○○○○年4月	○○○○年3月	○○大学○○学部○○学科	卒業
○○○○年4月	○○○○年3月	○○大学大学院○○研究科○○専攻修士課程	修了
○○○○年4月	○○○○年3月	○○大学大学院○○研究科○○専攻博士後期課程	修了
(学部名・学科名(研究科名・専攻名)を明記)			
職 歴			
年 月(自)	年 月(至)	事 項	
○○○○年4月	○○○○年11月	○○大学○○学部○○学科 助手(常勤)	
○○○○年12月	現在に至る	△△大学□□学部□□学科 講師(常勤)	
○○○○年4月	現在に至る	◇◇大学◇◇学部◇◇学科 非常勤講師	
(職歴はすべての職歴(自営業、主婦、無職等を含む)を記入)			
現 在 所 属 し て い る 学 会			
日本○○学会, 日本□□学会, △△△学会			
資 格			
取得年月	名 称		
○○○○年3月	普通自動車第一種運転免許		
○○○○年3月	高等学校教諭一種免許状(教科名) 免許番号		
賞 罰			
年 月	事 項		
○○○○年6月	日本○○学会 ◇◇◇賞 受賞		
○○○○年6月	日本○○大会 優勝		
年 月 日			上記のとおり相違ありません。
			氏 名 (自署)

倉敷芸術科学大学

※年は全て西暦で記入すること

※1頁内に記載できない場合は、複数頁に渡って記載すること。

①教育活動（教育実践・授業改善に関する特記事項）

（現職での担当科目）

※業績の詳細については、教育研究業績書（別紙）に記載すること。

②研究活動（専門分野における主な業績など）

- 1) 学術著書（博士学位論文・翻訳書を含む） ○件
- 2) 学術論文（査読有り） ○件
- 3) 学術論文（査読無し） ○件
- 4) Proceedings ○件
- 5) 総説・解説 ○件
- 6) 専門研究会・委員会報告 ○件
- 7) 学会発表（招待講演・シンポジウム等を含む） ○件
- 8) 特許・実用新案 ○件

※業績の詳細については、教育研究業績書（別紙）に記載すること。

③地域連携・社会貢献、管理運営その他の活動（学内外の活動を含む）

地域連携・社会貢献：

管理運営その他の活動（学内・学外）：

【履歴書】

1. 年は全て西暦で記入すること。
2. 3か月以内に撮影した顔写真（背景無し）を貼付すること。
3. 年齢は就任年度の4月1日現在の満年齢を記入すること。
4. 国籍の欄には当該教員が外国籍である場合にのみ国名を記入すること。日本国籍である場合は記入不要。
5. メールアドレスは2つ記入すること。1つは職場以外の必ず連絡がつくアドレスにすること。
6. 「学位」を取得している場合は、「学位・称号」欄に重要と思われるものを2件まで記入すること。また、学位を取得した大学名も記入すること。
外国の学位を取得している場合は、原語での名称を（ ）で付記すること。
7. 学歴は高校入学以降を記入すること。
8. 学部名・学科名（研究科名・専攻名）を明記すること。
9. 正規の学生以外の場合は、学歴に科目等履修生、研究生等の種別を明記すること。
10. 学歴の区分欄には卒業・修了・単位取得後退学等の区分を明記すること。
11. 職歴はすべての職歴（自営業、主婦、無職等を含む）を記入すること。
12. 職歴には常勤・非常勤の区分、職位（教授・准教授等）、職務も明記すること。
例：「〇〇大学〇学部〇〇学科 講師（常勤）」、「△△大学△学部△△学科 非常勤講師」
13. 職歴には大学院（修士・博士）構成員の職務も明記すること。
例：「〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻 講師（常勤）」
14. 職歴には在学中の TA・RA 等の学生指導経験は明記しないこと。
15. 同一事業所内でも、職務内容が異なる場合は職歴を個別に記入すること。
16. 資格の欄には運転免許についても記入すること。
例：「普通自動車第一種運転免許」、「高等学校教諭一種免許状（教科名）免許番号」
17. 賞罰の欄には表彰又は懲戒処分を記入すること。
※過去にセクハラ・性暴力等を行ったことを原因として懲戒処分等を受けた場合、賞罰の欄に、刑事罰のみでなく、学生に対するセクハラ・性暴力等を原因とする過去の懲戒処分歴や、その原因となった具体的な事由について記載すること。虚偽の記載が判明した場合、不採用や雇用後の懲戒解雇等の対象となります。
18. 1頁内に記載できない場合は、複数頁に渡って記載すること。
19. 署名は必ず自署とすること。
20. 記載内容がない場合は、「該当なし」と記載すること。
21. ①教育活動の「教育実践・授業改善に関する特記事項」の欄には、新しい教育方法の採用例（ディベートの導入、情報メディアの活用）や作成した教科書・教材など、教育活動における取り組み事例を記入すること。
22. ②研究活動（専門分野における主な業績など）の欄には、本学での担当授業科目との関連に留意するほか、適宜ご自身の専門分野や業績をご記入すること。
23. ③地域連携・社会貢献、管理運営その他の活動（学内外の活動を含む）の欄には、学内活動は、過去5年間のチューター歴、委員会委員歴などのほか、学外実習引率指導・インターンシップ・就職資格支援活動、高大連携事業（出張講義など）、学生募集活動（高校訪問・オープンキャンパス参画など）もご記入すること。
活動時期・活動期間も併せて記入すること。新採用の場合には、記入は不要。
学外活動は、過去5年間の所属学会、学会役員歴、大学の知名度を高める講演会活動やマスコミ参加活動、産官学との連携活動や社会貢献活動（国際貢献・生涯学習支援など）も記入すること。

(別紙)

教育研究業績書

年 月 日

氏名 印

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発 表の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の 名 称	概 要
(学術著書) 博士論文				
1.				
(学術著書)				
1.				
(創作作品)				
1.				
(学術論文：査読有り)				
1.				
2.				
3.				
4.				
5.				
(学術論文：査読無し)				
(Proceedings)				
(総説・解説)				
(専門研究会・委員会報告)				
1.				
2.				
(学会発表)				
1.				
2.				
(特許・実用新案)				

(注)

- ・ 代表的な論文等の抜刷を添付すること。
- ・ 作品等の場合は、カタログや写真等を添付すること。
- ・ ページは、適宜増えても構わない。

【業績書】

1. 業績は1)から8)に区分し、各区分の集計数を記入した後、区分ごとに通し番号を付して、新しいものから順に記入すること。なお、区分ごとに以下の見出しを付けて記入すること。

- 1) 学術著書(博士学位論文・翻訳書を含む)
- 2) 学術論文(査読有り)
- 3) 学術論文(査読無し)
- 4) Proceedings
- 5) 総説・解説
- 6) 専門研究会・委員会報告
- 7) 学会発表(招待講演・シンポジウム等を含む)
- 8) 特許・実用新案
- 9) その他必要な業績(書評等)

2. 投稿中で採否未定のものには記載しないこと。

3. 単行本で共著の場合は分担を記載すること。

4. 頁は初めと終わりの頁を示すこと。

5. 著者名は本人の氏名(下線を付すこと)を含む全著者を掲載順に記入すること。

また、本人が第一著者または責任著者(Corresponding Author)として関わったものについては、氏名に記号「*」(上付き文字)を付すこと。

6. 研究業績一覧は最大5頁を限度とする。(ページ番号を付すこと)

(重要なものが漏れないように適宜取捨選択をする。)

7. 記載内容がない場合は、「該当なし」と記載すること。